


















SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

		作成日：令和4年10月3日		企業・団体名：株式会社響建設																	
カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●					4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8							16.1		
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●									8.5 8.8				かじよ					
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●				4.4					8.7 8.8	10.2 10.3								
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●					3				8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●					3													
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●						5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●					4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●						5.5			8.5	10.2 10.3								
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる	●					3				8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している	●					3				8	9.1	11	12						
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している	●									8	9.1	11	12						
	環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●											11.6	12.4		14.1			
14		【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●									7.3				13					
15		【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●									7.2 7.3				12.4	13.3				
16		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●					3.9		6.3				11.6	12.4						

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
																														
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・社内文章には、裏紙を使用。 ・再生紙利用の推進。 ・グリーン製品を購入している。						6											12	13	14	15					
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している	●							6.1 6.6	7											11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	●		・CLTを使用した非住宅の賃貸マンション開発、設計、施工。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
社会 貢献 ・ 地域 貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・毎週火曜日、本社前鏡川河川清掃を行っている。 ・受注した建築物の用途を理解し、品質及び工期厳守の施工。				4						9							11	12		14	15		17		
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	●		・毎年幾つかの寄付依頼の中から選定し協力。				4														11			14	15		17	
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている	●		・県産材を使用した木材やCLTの活用。									8	9							11	12							
組織 体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・コンプライアンス研修を定期的な受け、法令順守の意識をもたせるようにしている。																							16		
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・経営理念に関し事務所及びHPに掲示、社員に周知徹底、社員各々実践している。									8	9													17		
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・担当者（役員）を選任している。																								16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・ステークホルダーと共に、緊急時の対応等共有化を行っている。																								16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	●		・担当者より必要な際、朝礼や社内会議で伝達。																								16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している	●		・書類の整備、保険の活用。 ・外部コンサルタントの活用。																								16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	●		・現場の施工管理に関し、建設、安全、環境に関する法令を遵守しながら行動。																								16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型コロナウイルスなどに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる	●		・災害版BCPを策定し、災害時の事業継続が行えるよう体制を整えている。 ・年数回の実践型訓練を通し、災害時に速やかな行動が取れるよう、社員が各々危機意識を持つようにしている。											9							11			13 13.1		16		
48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・顧問税理士、司法書士、金融機関と相談しながら、活用できる制度を用い対策中。											8	9												17		
持続 可能 な 社会 ・ 地方 創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・年数回、災害を想定した避難訓練を行っている。				4													11.5			13.1			16		
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている	●			1.5			3	4												10.2	11.5			13.1		16	17	
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている	●		・自社工事看板にSDGsロゴのペインティング。（近隣住民等への啓発。） ・SDGs応援私募債（百十四銀行）発行。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								

